

新型コロナウイルス感染防止対策としての遵守事項

◎ 下記にあてはまる人は参加を見合わせてください。

- ・体調がよくない場合（例）発熱、咳、咽頭痛などの症状のある場合
- ・同居家族や身近な知人が感染を疑われている場合
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

◎ 感染予防のために下記の事柄を必ず守ってください。

- ・マスク着用（試合時を除く） * 審判員は試合中もマスク、フェイスガードを着用すること。
- ・手洗い、手指消毒の徹底
- ・ソーシャルディスタンスの確保（両手を広げた間隔）
- ・大会を通じて大きな声で会話をしないこと
- ・感染防止のために主催者が決めた措置の遵守、指示に従うこと
- ・大会を通じて、握手、ハイタッチ、ハグ等を行わないこと

◎ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会主催者に道場長を通じて速やかに報告すること。

◎ 選手による以下の行為は自粛すること

- ・選手同士の声を出しての応援、アドバイス
- ・握手、ハイタッチ、円陣等

競技申し合わせ事項

<形競技>

- ・競技場への入退場はマスクを着用すること
- ・形を演武し、コートから退場したらマスクを着用する。 * 試合時にマスクの着用義務はない
- ・競技中の気合いは可とする
- ・マイ帯（赤・青）の着用は認める
- ・形名の呼称は競技規定のとおり行う。ただし、怒鳴るような呼称はせず抑えた発声とする
- ・コートへの入退場は横から入り、出る方式
- ・負けた選手も当該種目の競技終了まで見学する

<組手競技>

- ・競技場への入退場時はマスクを着用すること
- ・メンホーにマウスシールドを着用する。マウスシールドがない場合は、飛沫防止のために道場長が確認をした、それに代わるものでもよい（例）透明な養生テープ等
- ・マウスシールド等の飛沫防止策が講じられていない場合は、出場を認めない。大会実行委員としては、準備をしない。
- ・競技中の気合い発声は可とする
- ・マイ帯（赤・青）の着用は認める
- ・試合中にメンホーあるいはマウスシールド等が取れた場合、試合は一旦停止をし、コート内でのソーシャルディスタンスを保ち、防具を装着し、試合を再開すること
- ・試合中にマウスシールド等が外れた場合は、自分で拾うこと。相手のものを拾わないこと
- ・マウスシールド等が外れて試合を中断しないように、テープ等でとめること
- ・負けた選手も当該種目の競技終了まで見学する

<観覧>

- ・保護者の観覧は2階席のみとする。入場を生徒1名に対して1名認める
- ・お子様が複数人参加の場合、子連れでの観戦も認める。ただし、お子様が走り回ることがないようにお願いいたします

<表彰>

- ・各種目順位が決定後、アリーナ内で行う。写真撮影は連盟スタッフで行い後日道場長へ送ります
- ・メダルは首にかけずに、賞状とメダルを入れたケースをお渡しします

<そのほか>

- ・開会式、閉会式は行いません
- ・観覧席確保のため、選手の荷物（水筒・タオル等）は試合会場まで自分で持ち込み、荷物置き場に置くこと
- ・マスクの種類などは問わないが、鼻までしっかりと覆うようにする
- ・アリーナ内への入退場時には必ず消毒液を使用すること
- ・選手はアリーナ内招集場所に時間通り集合すること
- ・体調管理のため、水分補給は適宜行う
- ・飲食をする場合は、黙食で行う
- ・更衣の際は、会話などを慎むこと
- ・大会実行委員で選手の体調が思わしくないと判断した場合は、出場を認めない

ご不明な点がございましたら、道場長にお尋ねください

役員・審判・スタッフ用

感染防止対策を十分に講じるために、厳密なスケジュール管理が求められます。集合時間の厳守(早すぎてもいけないこと)など、選手・保護者への周知徹底をお願いします。

<役員>

- ・アリーナをコート、招集場、選手の観戦場とする都合上、本部席・ドクター席は表彰台横に規模を縮小して設置する
- ・極力来賓の数を制限する
- ・来場された来賓へのリボン等はつけない
- ・湯茶等の接待も行わない

<スタッフの方へ>

スタッフとは・・・招集、点呼、選手の呼び出し、選手の誘導、形の合計得点呼称、組手得点版をおもにお手伝いをお願いします。もちろん、各コート審判員もお手伝いをしますのでご安心ください。

・道場長の先生は、保護者や一般の道場生の方へスタッフのご協力の依頼をお願いします。割振り
は下記のようにさせていただきます。ご意見などがございましたら、古橋秀鷹までご連絡ください。

種目	時間	担当	種目	時間	担当
		WKA 3			瀬戸 3
		旭 3			朗心塾 3
		淳風会 3			守山 3
		聖道流			

* 時間は集合から解散までのおおよその時間です * 数字は必要人数

<審判員>

- ・笛は使用せず、電子ブザーのみとする
- ・形は、得点制で行うのでマスクのみ着用
- ・組手は、マスク + フェイスシールドを着用
- ・ビニール手袋の着用
- ・赤青紐は使用しない。形は赤青のラインテープ、組手は拳サポーターの色で判別する
- ・各試合が早く終わることは構いません。選手はタイムテーブルに従い来場するので、スケジュールが早まることはない
- ・選手や保護者の目も意識し、ソーシャルディスタンスをとる

・大声での呼名、談笑、叱責は慎みましょう

<そのほか>

- ・消毒液と使い捨てのぞうきんはアリーナ入り口、各コートへ配置する
- ・消毒液の垂れこぼしでアリーナの床に沁みがつくので、必ずふき取る
- ・フェイスガード、ビニール手袋は大会実行委員で準備し、審判員へ配布する
- ・スタッフへはビニール手袋を配布する
- ・予備のマスクは用意する
- ・具合が悪そうな選手がいた場合は、非接触型体温計を用い検温する。37.5度以上は帰宅させる。それ以外にも、熱はないが具合が悪そうであれば審判長に報告し、判断を仰ぐ
- ・昼食は各コート長が審判長に報告し、適宜食べていただく
- ・全ての試合終了後、いす・机・各種備品を審判員で除菌し、片付ける
- ・事前に組み合わせのデータを送信しますので、各道場、ご家庭で印刷してください